



ASTON MARTIN

## アストンマーティン V8 ヴァンテージ スポーツシフト・トランスミッション搭載モデルを追加

アストンマーティンは2006年パリモーターショーにおいて、V8 ヴァンテージ「スポーツシフト」導入を発表します。これは「オートメイトド・マニュアル・トランスミッション (AMT)」という新しいタイプのトランスミッションです。

スポーツシフトは、ヴァンテージの既存の6速マニュアルギアボックスに電子油圧制御を加えることにより、シフトタイムの向上を図るものです。これまでのようにマニュアルギアレバーではなく、ドライバーはセンターコンソール上に配されたプッシュ式ボタンを操作して、「オートドライブ」「リバース」「ニュートラル」を選択することになります。

マニュアルのギアチェンジは「パドルシフトモード」で選択できますが、これは、指先でパドルを操作することによって、これまで以上に正確かつ超クイックなギアチェンジを実現する新システムです。軽量マグネシウムを鍛造して造られたパドルはステアリングホイールの背後に位置し、あらゆるギア比においてレスポンスに優れたスムーズなギアシフトを提供します。

アストンマーティンのウルリッヒ・ベッツ会長兼最高経営責任者(CEO)は次のように述べています。「スポーツシフトは、これまで以上のパフォーマンス感を提供しながら、ドライバーと車がまさに一体となる、充実したドライビング体験を実現するものです。ヴァンテージが代々受け継いできた特性に完璧にマッチするスポーティーなオプションを開発しました」

スポーツシフトは、既存のマニュアルトランスミッションと比べ、ギアチェンジに要する時間を最大3分の1も短縮します。その結果、アクティブなドライビングを好むドライバーは0.2秒以内で正確なギアシフトが可能になります。また、あらゆるドライビング条件に適応するために、より穏やかなシフトチェンジを行う「コンフォート」モードも用意されています。これらすべての選択はセンターコンソールに配されたボタンのワンタッチ操作で行います。

イタリアのナルド、ドイツのニュルブルクリンクなど様々なテストコースで研ぎ澄まされたスポーツシフトは、18 ヶ月にも及ぶ集中的な開発プログラムの結果として実現しました。チーフプログラムエンジニアのデイヴ・キングは次のように語っています。「ドライビングの楽しみはヴァンテージの持つ数々の特質の中でも最優先の事項です。それを実現するために欠かすことができないのがギアチェンジの性能です。スポーツシフトはヴァンテージに課せられた要求をスムーズに提供します。これによってドライバーはハンドルから手を離すことなく、よりスピーディーにギアチェンジできるため、これまで以上にドライビングに集中することができます。」

スポーツシフトの高い機能性は、低速「クロール」機能によって、さらに強化されています。クロール機能は操縦性をアシストするための機能で、穏やかにクラッチをつなぎながら車を時速4マイル(時速6.4キロメートル)までの低速で走行するよう制御するため、車を駐車させる際などに、ドライバーはスロットルコントロールに気を取られることなく、車両のポジショニングに神経を集中させることができます。さらに、スポーツシフトは、「オートドライブ」モードも備えています。ユーザーがこのモードをオンにすると、あらゆるギアチェンジのタイミングが完全に自動制御され、すべての条件下で適切なギアが自動的に選択されます。

全長4,380cmのヴァンテージは、アストンマーティンのラインナップの中で最もコンパクトなモデルです。強い意志を秘めた、低い印象的なボディに、上質な趣のある、手のかかったインテリアを併せ持つヴァンテージは、2005年ジュネーブモーターショーにおいて大きな称賛の中デビューしました。フロント中央に搭載されるアストンマーティン製の新型4.3リッター380bhpエンジンは、オールアルミニウム製のV8で優れた排ガス性能を持ち、最大トルク410Nm(302lb.ft)/5000rpmのパフォーマンスを発揮する、ヴァンテージ専用のパワーユニットです。

スポーツシフト・ギアボックスは既存の6速マニュアル・トランスミッションに加え、ヴァンテージのモデルレンジをいっそう強化するものです。

スポーツシフトを搭載しても、車体総重量の増加はごくわずかに抑えられると同時に、ヴァンテージの49:51という最適な重量バランスに与える影響も最小限にとどめられるため、低い極慣性モーメントと素晴らしいバランスは保たれます。同様に、トップエンド・パフォーマンスも280km/h(175mph)と、変わりはありません。0-100km/h(62mph)加速では、マニュアル車の5.0秒をわずかながら上回る数値を達成しています。

ヴァンテージは、英国のワーウィックシャー州ゲイドンにある、アストンマーティン本社で製造されています。この施設では、アストンマーティン車によく知ら

れる受注生産・ハンドビルドの生産工程に、接着剤で接合されるアルミニウム製 VH 構造の製造に要求される先端技術が融合されています。

極めて美しく精巧なデザインに、クラストップの俊敏さと性能を組み込んで仕上げられたヴァンテージはまた、容量 300 リットルのリアトランクルームへ容易なアクセスを実現する大きなテールゲートをもった、実用的 2 シーターという側面も持ち合わせています。

ベッツ会長は次のように述べています。「スポーツシフトによって、世界で最も望ましいスポーツカーとしてのヴァンテージのポジションがさらに強化されました。これまで以上にすばらしく爽快なドライビング体験をドライバーに提供します」

「ヴァンテージ・スポーツシフト」の価格は後日発表いたします。また、日本での納車開始時期は 2007 年第 3 四半期ごろの予定です。

< 内容に関するお問い合わせ先 >  
アストンマーティン・ジャパン  
マーケティング・広報 伊原  
電話： 03 - 5404 - 8697